

平成 30 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	若生まなびや館（浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設）	
指定管理者	名称	若生まなびや館管理組合
	代表者	組合長 金崎 和人
	住所	浜田市金城町波佐イ 998 番地 5
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運營業務の確認は、管理運営状況を事業報告書、実地検査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の事業計画書に示された項目毎に、具体的な業務の履行状況等について確認した上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」等を記入しました。	
担当部署 (問合せ先)	部署名	教育委員会 金城分室 教育振興係
	電話番号	0855-42-1237
	E-mail	k-kyouiku@city.hamada.lg.jp

■ モニタリングの総合コメント

本施設は、平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入し、施設管理は、若生まなびや館管理組合が受付から施設の設備の管理、各種事業、イベント等の計画、実施までを行っています。

また、利用者が安全な環境のもとで利用できるよう日常的な点検を実施し、施設等の不具合の発見時は、速やかに補修するなど適切な対応、保全に努めています。

利用は、広島 PR センターとの協力関係、リピーター、口コミにより広島などから「山菜採りツアー」等のイベント参加、また、「鮎等の魚釣り」に来られた方も当該施設の利用により地元交流が行われています。今年は大きな災害も無く夏の自然体験イベントが実施出来たおかげで、昨年と比べ利用客・収入とも増となり、一昨年の水準まで戻っています。

指定管理者は、従事者高齢化等の問題もありますが、各種イベントの企画運営を行い、利用者の増加と施設運営継続のため頑張っておられます。

以上のことから総合的に判断し「優秀」と評価しました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

これまで、指定管理者である管理組合への施設譲渡方針により、協議を進めてきましたが、現状では過疎・高齢化（後継者不足）が深刻化しており、管理組合としても譲渡を受けにくいとのこと。

今後、将来施設の設置目的を継続維持していくための管理運営体制の検討とあわせ、譲渡に限定しない、弾力的な運用についても検討を進める必要がありますが、その結論を得るまでの間については、引き続き、施設の保全管理及び利用促進のための PR 活動を積極的に行うなど、利用者増加のための各種事業を継続実施するよう、より一層の努力を期待します。

■個別評価

I 基本的な考え方
① 目的、公平性、効果等への所見
1 目的 「自然環境に恵まれた地域の資源を利用して都会との地域間交流を図りもって地域の活性化に資する。」
2 公平性 施設条例、規則及び協定書に基づき、適正に管理運営を実施し、公正で公平な利用の確保を図っています。
3 効果 環境整備やサービスの向上に努め、利用者が、安全・安心で快適に利用出来るように務められています。
II 業務内容
① 事業への具体的取り組み方について
1 取り組み (1) 少ない人員を有効に活用し、施設利用者への「おもてなしの向上」に努めています。 (2) 地域の自然環境を活かした、「ヤマメの掴み取り」や「沢登り」等の自然体験教室をメニュー化し継続実施しています。 (3) 春のイベントとして、「山菜ツアー」などの企画を行い利用者の拡大を図っています。 (4) 浜田市広島PRセンターとも連携を図ることで、都市部と農村部との人口交流の拡大として、広島県からの利用者の呼び込みを行っているほか、過去の利用者に対して手紙の送付などを行い、リピーター確保にも継続的に努めています。 (5) 地元の営農法人「ひやころう波佐」と協力し、各種イベント時に施設・地域のPRを行っています。
② 施設の運営体制や組織について
1 施設運営体制 管理運営スタッフ（非常勤）地元住民 20 人 ※管理組合事務局が各種事業実施にあわせ、調整し配置
2 施設組織役員の体制 若生まなびや館管理組合 組合長 1 人、副組合長 2 人、理事 2 人、事務局 1 人、会計 1 人、監事 2 人
③ 適切な事務や経理について
1 事務 法令を遵守 浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設条例及び規則等の規定を守り適正な事務手続きを実施しています。
2 経理 適切に処理
④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について
1 安全管理 (1) 危機管理マニュアル（緊急時、防災時の対応等）、緊急連絡網を整備済 ※緊急時等の対応に万全を期しています。
2 情報管理

	<p>(1) 業務上知り得た個人情報、本施設の運営のみの使用に限定</p> <p>(2) 保管状況は、施錠可能な事務室内において保管</p>
	<p>⑤ その他業務内容について</p>
	<p>1 現指定管理者の役割</p> <p>地域内の他団体等が行う各種イベント等に積極的に参加</p> <p>※団体同士の連携の強化を継続的に図っています。</p>

※ 「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	若生まなびや館（浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設）	
所在地	浜田市金城町波佐イ 998 番地 5	
開設年月	平成 15 年 4 月	
設置条例	浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設条例	
設置目的	自然環境に恵まれた地域の資源を利用して都市との地域間交流を図り、もって地域の活性化に資する。	
施設の概要	敷地面積	965.28 m ²
	延床面積	宿泊棟 105.24 m ² 体験準備棟 18.00 m ² 機械棟 4.96 m ²
	施設内容	宿泊室 廊下 体験準備室 トイレ 機械室
	事業内容	・地域間交流のための利用に供する事業 ・その他設置目的にふさわしい事業

2 運営実績

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
開館日数	14 日	21 日	24 日
開館時間	8 : 00 ~ 17 : 00	8 : 00 ~ 17 : 00	8 : 00 ~ 17 : 00

3 利用実績

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
延べ利用者数	188 人	300 人	409 人
（うち宿泊）	18 人	100 人	56 人
（うち休憩）	170 人	200 人	353 人
利用料金収入	106,100 円	250,000 円	210,200 円

4 収支実績

(単位：円)

収入

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
利用料金収入	106,100	250,000	210,200
自主事業収入	74,400	500,000	398,000
雑入(貯金利息、助成金等)	125,008	50,000	69,007
収入計 (A)	305,508	800,000	677,207

支出

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
人件費	0	30,000	0
賃金	0	10,000	0
報償費	0	5,000	0
旅費	0	10,000	0
研修費	0	5,000	0
管理費	391,180	430,000	529,175
消耗品費	19,677	20,000	22,255
光熱水費	183,734	180,000	199,783
修繕料	0	0	24,300
通信運搬費	33,328	30,000	33,351
手数料	5,025	10,000	4,950
洗濯代	3,300	30,000	65,616
保険料	34,380	30,000	34,380
委託料	108,000	110,000	108,000
負担金	0	5,000	0
租税公課	0	5,000	0
備品購入費	3,736	10,000	36,540
事業費	25,083	280,000	153,389
自然体験事業等	25,083	280,000	153,389
その他	46,467	60,000	43,697
総会費	46,467	60,000	43,697
支出計 (B)	462,730	800,000	726,261

収支差引 (A-B)	▲157,222	0	▲49,054
-------------------	-----------------	----------	----------------